

1. 事業の位置付け

事務事業名	多様な学習推進事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
予算科目	01-100502-020000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	01	1 生涯にわたる学習・スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境を充実する	
根拠法令等	社会教育法第22条		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
様々な世代の市民が、学習・レクリエーション活動を楽しむことに喜びを感じ、意欲をもって取り組んでいます。		生涯学習推進のため、情報提供と公民館での各種講座などの学習事業を実施するとともに、家庭教育学級では、幼稚園保護者と近隣の幼児を持つ親を対象に市立幼稚園で「親学び学級」を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	各種講座開催回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			1,500	1,550	1,600			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	各種講座参加者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			38,000	43,500	44,000			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
従来からの共通4事業（家庭教育学級、高齢者学級、児童・生徒地域参加事業、パソコン教室）や自主事業、ブロック事業の中で、特に家庭教育学級において、市立幼稚園と連携して、園児保護者と近隣の幼児を持つ親を対象に市立幼稚園5園で「親学び学級」を実施することにより、生涯学習を推進することができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	社会教育法第20条に規定されている公民館の目的に向けて、目的を達成するため同法第22条に掲げた事業を行っており、年々参加者も増加していることから、必要性が高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民一人一人が生涯に渡り、自主的に学習する様々な機会や場を提供し、それを継続して行うことが求められている状況に対応するものであり、有効である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	公民館主事の職員が各公民館には配置され、市民の学習ニーズや地域性を考慮した特色ある事業を行っており、妥当である。講座内容について更に検討する必要がある。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	有料の講師を依頼するばかりでなく、公民館の講座を受講したり、サークルで活動している方を講師として活用することで、人材活用及び経費削減を図っている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 常に社会情勢や市民ニーズに敏感に対応するような講座を企画立案することが求められている。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				各種講座などの開催	各種講座などの開催	各種講座などの開催		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	12,963	12,754	18,411	0	0
事業費 (A)		0	0	12,963	12,754	18,411	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	70.41				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	10.60	10.60	10.60	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	88,945	88,945	88,945	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	101,908	101,699	107,356	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 公民館の家庭教育学級としては、幼稚園のある地区に限定せず全市的に実施することが望ましいことから、平成20年度からは全25地区公民館で幼児を持つ親を対象に「親学び」に関する講座を盛り込み、継続して開催していく。また、共通4事業のうち、「パソコン教室」は6年間開催して一定の役割を果たしたことから終了することとし、新たに20年度以降は「団塊の世代教室」を共通事業に位置づけて推進していく。	
平成21年度の取組方針 「家庭教育学級」及び「団塊の世代教室」の充実に努めていく。	
課長コメント	多様な学習機会の提供や自主的な学習活動の支援など、地域における学習支援を行うとともに、家庭の教育力の向上を図るための支援などの充実に努める。